

狛犬

二之鳥居近くには悪霊から神社を守るために2頭の狛犬の像があります。狛犬は何世紀も前に仏教と一緒に中国から渡来しました。

通常、右側にある守護ライオンは「阿」と言っているかのように口が開いています。阿はサンスクリット語のアルファベットの最初の音節です。もう一頭の左にある番犬の像の口は、サンスクリット語の最後の文字「吽」を発音しているように閉じられています。その両方を合わせて、狛犬は聖なる言葉である「阿吽」を形づくり、万物の始まりと終わりを示しているのです。

こうした「阿吽」の特徴は、日本の多くの仏教寺院の入口に置かれ、守護している仁王像にも見られます。